



季節性インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症流行を踏まえた 発熱患者の受入れと鑑別診断のための検査体制について

当セミナーはWEBセミナーです。事前登録いただきましたメールアドレスに講演動画視聴URLを配信いたします。

配信期間

2020年11月27日(金) 17:00 ~ 12月7日(月) 17:00

申込方法

2020年11月2日(月) 17:00~12月4日(金) 17:00に下記URLよりお申し込みください。

URL <https://bit.ly/36D7m6A>

富士フイルム公式ホームページからもお申し込みいただけます。

[ホーム](#) ▶ [医療関係の皆様](#) ▶ [学会セミナー](#) ▶ [富士フイルムメディカルWEBセミナー2020](#)



スマートフォンからの場合、
お申し込みページは
ここからもアクセスできます。

PROGRAM

25分 講演1

新型コロナウイルス感染症対策と検査利用： 季節性インフルエンザ流行に備えて

講師

宮地 勇人 先生

東海大学医学部基盤診療学系臨床検査学 教授 /
日本医師会COVID-19有識者会議「COVID-19感染対策におけるPCR検査タスクフォース」班長 /
東京iCDC専門家ボード「検査・診断」チームメンバー / 日本臨床検査医学会 遺伝子担当理事 /
日本臨床検査標準協議会(JCCLS)遺伝子関連検査標準化専門委員会 委員長

25分 講演2

COVID-19の現状と今冬の医療体制、東京における方向性

講師

角田 徹 先生

東京都医師会 副会長 / 東京iCDC運営委員会 委員 /
日本医師会予防接種感染症危機管理委員会 委員 / 角田外科消化器科医院 院長

10分 講演3

～座談会～

さまざまな提言や仕組みから、1次・2次診療の連携体制を考える

講師

宮地 勇人 先生 / **角田 徹** 先生

※演題につきましては変更される場合もございますので、予めご了承ください。

要旨

講演1

新型コロナウイルス感染症対策と検査利用： 季節性インフルエンザ流行に備えて

講師

宮地 勇人 先生

東海大学医学部基盤診療学系臨床検査学 教授/
日本医師会COVID-19有識者会議「COVID-19感染対策におけるPCR検査タスクフォース」班長
/東京iCDC専門家ボード「検査・診断」チームメンバー/日本臨床検査医学会 遺伝子担当理事/
日本臨床検査標準協議会(JCCLS)遺伝子関連検査標準化専門委員会 委員長

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) パンデミックにおいて、緊急事態宣言による行動抑制の結果、感染流行は一時的に制御された。しかしながら、社会経済活動の再開とともに感染者が再び増加している。感染拡大を効果的に制御するには、ウイルス検査の大幅な拡充が必要である。今冬の季節性インフルエンザの流行期には、発熱等の患者に対し、適切な診療において、検査の実施環境の改善が喫緊の課題となる。本講演では、COVID-19対策の現状と課題を総括し、季節性インフルエンザ流行期の対応に向けて、検査の利用方法について概説する。

講演2

COVID-19の現状と今冬の医療体制、東京における方向性

講師

角田 徹 先生

東京都医師会 副会長/東京iCDC運営委員会 委員/日本医師会予防接種感染症危機管理委員会 委員/
角田外科消化器科医院 院長

COVID-19の第2波において、重症化率・死亡率は明らかに低下しているものの、新規感染者数は横ばい状態が続いている。今冬のインフルエンザとの同時流行に備えて、国は“まずはかかりつけ医等地域の医療機関にアクセス”との方針を示した。感染者数の多い東京都では、第1波の際から“まずはかかりつけ医に電話で連絡し指示を受ける”ことを、当会として都民・会員に周知・依頼している。東京の目指していた医療体制が、全国展開されたと捉えている。10月12日時点で、都内でのPCR検査等可能医療機関数は2000を数える。東京iCDC(感染症対策センター)も立ち上がり、今後体制整備をより一層加速させたいと考えている。